

第 6 次 地 域 管 理 経 営 計 画 書
第 6 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(対馬森林計画区)

(第 1 次変更計画)

計画期間

自	令和 2 年 4 月 1 日
至	令和 7 年 3 月 31 日

(令和 5 年 3 月変更)

九州森林管理局

第 6 次 地 域 管 理 經 営 計 画 書

(対馬森林計画区)

(第 1 次変更計画)

計画期間

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(令和 5 年 3 月変更)

九州森林管理局

地域管理経営計画の変更について

[変更理由]

次の理由から国有林野管理経営規程（平成 11 年 1 月 21 日農林水産省訓令第 2 号）第 6 条第 9 項に基づき変更する。

- 1 現地の林分状況の精査により間伐計画箇所を見直したため、伐採総量を変更する。

なお、本変更計画の効力は、令和 5 年 4 月 1 日より生じる。

注 1： 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、文中の下線部が変更等の個所である。

注 2： 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

目 次

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(4) 主要事業の実施に関する事項	1
① 伐採総量	1

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(4) 主要事業の実施に関する事項

① 伐採総量

単位 数量：m³、面積：ha

区 分	主 伐	間 伐	臨時伐採量	計
本 計 画	7,066	<u>104,920</u> (903)	<u>1,014</u>	113,000

注1 () は、間伐面積である。

第6次国有林野施業実施計画書

(対馬森林計画区)

(第1次変更計画)

計画期間

自 令和2年4月1日
至 令和7年3月31日

(令和5年3月変更)

九州森林管理局

国有林野施業実施計画の変更について

[変更理由]

次の理由から国有林野管理経営規程（平成 11 年 1 月 21 日農林水産省訓令第 2 号）第 14 条第 2 項に基づき変更する。

- 1 現地の林分状況の精査により間伐計画箇所を見直したため、伐採総量を変更する。

なお、本変更計画の効力は、令和 5 年 4 月 1 日より生じる。

注 1： 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、文中の下線部が変更等の個所である。

注 2： 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

目 次

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量 ………	1
(4) 伐採総量 ……………	1

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林地以外	合 計				
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計						
山地災害防止タイプ	542	15,879 (148)	16,421								
自然維持タイプ	—	— (—)	—								
森林空間利用タイプ	—	— (—)	—								
快適環境形成タイプ	—	— (—)	—								
水源涵養タイプ	スギ・ヒノキ普通伐期	3,673	1,224					4,897			
	スギ長伐期	—	15,911					15,911			
	ヒノキ長伐期	—	62,340					62,340			
	スギ・ヒノキ複層林	1,719	9,552					11,271			
	しいたけ原木	1,132	—					1,132			
	保護樹帯	—	14					14			
	計	6,524	89,041 (755)					95,565			
合 計	7,066	104,920 (903)	111,986					1,014	113,000	—	113,000
年 平 均	1,413	21,204 (182)	22,617					283	22,900	—	22,900

注1 () は間伐面積である。

年平均については、増減した量を残計画年数で除し、従前の年平均に増減させ記載した。

四捨五入の関係で計と内訳の合計が一致しないことがある。

(再掲) 市町村別内訳

単位 m³

市 町 村 名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量		
対 馬 市	7,066	104,920	111,986			

注 臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。